

## 立命館大学技術士会 第2回総会 報告

立命館大学技術士会第2回総会は、平成23年5月14日(土)、14時より(社)中央電気倶楽部215号室において開催し、議案の審議を会員の真摯で建設的な意見等により行い、第1号から第5号議案まで議決しました。

なお、議決しました第1号議案から第5号議案は、別紙議案書を参照して下さい。

総会の司会は、事務局(糸田川幹事長: S47卒)が務めました。

まず総会に先立って、昨年会員である田中玲光氏が逝去されたこと、3月東日本大震災が発生し、多くの方が犠牲となられてことに対し哀悼の意を込めて黙祷を行いました。

続いて渡邊郁夫会長(S42卒)より、開会に当たっての挨拶があり、その中で、大震災にも触れ、社会基盤整備の重要性、意義が話されました。

来賓として、立命館大学校友・父母課野村慶人様より祝辞があり、当会が立命館大学のOB会の中でも、モチベーションが高く、社会貢献度でも着実に前進し、取り組んでいることを報告いただきました。

また祝電として、立命館総長川口清史様、立命館大学校友会会長山中諄様および立命館大阪オフィス一同様よりいただきました。

祝電内容は、別途資料をご参照下さい。

続き総会に入り、まず会則に従って、議長に渡邊会長を選出しました。

なお出席者は28名で、委任状等を含め77名の参加となりました。

### 1) 第1号議案: 第1期事業報告および第2号議案: 第1期決算報告及び監査報告

事務局より、議案書内容を説明し、宮川繁雄監事(S47卒)の監査報告がありました。異議なしとのことで、承認されました。

### 2) 第3号議案: 事業計画(案)および予算(案)

事務局説明後、事業計画について以下の提案がありました。

技術士試験受験講習会における講師各位へ、交通費・講師料を支給できるようにしてほしい。

他学科である機友会、電友会にも働きかけ、会員増強を図るようにしてもらいたい。

また、予算(案)において、経費節減においては、メール等を使い郵送等の経費削減を進めてもらいたい。

以上の提案、意見をいただき、幹事会で取り組むことにします。

### 3) 第4号議案: 役員人事(案)

事務局より、15名の新役員および2名の監事人事の説明がされ、承認されました。

審議の中で、相談役について質問があり、相談役は岸田順三新相談役以外に、設立当初より、奥村一氏(S24卒)、大同淳之氏(S30卒)の2名が居り、計3名となると事務局より報告、また、顧問には、児島孝之氏、山田淳氏、田中伊三雄氏(S33卒)が設立当初委嘱され、継続されていると報告がありました。

### 4) 第5号議案: 会則改定(案)

理工学部各学科に呼びかけ、会員拡大を目指す根拠として、各学科における部門の副会長を考え6名程度まで可能とし、また部門と専門の幹事を確保する上でも、当面として20名まで幹事を拡大できるように会則を改定する趣旨を事務局説明がありました。補足説明が幹事よりあり、議案は承認されました。

総会は以上で議案審議を終え、議案は原案通り承認されました。

引き続き新技術士となった“今井豊氏(H08卒)”より、技術士合格支援のお礼と技術士としての今後の決意が述べられました。

また新役員の紹介を、各自その場で起立にて紹介しました。

最後に大森秀高副会長(S50卒)より、閉会の辞があり、『頑張ろう日本』のエールコールで、総会を終えました。

-----

その後、会場を207号室に移り、懇親会が開かれました。

総会参加者の内27名および校友・父母課野村様の参加により、懇親会が開かれました。

乾杯は新技術士となった今井氏が指名され、乾杯の発声により懇親会に入りました。

約1時間の懇親の中で、様々に交流懇親が行われ、16時半過ぎ、大同相談役の一本締めにより、閉会となりました。

事務局より、今後の取り組み等の挨拶があり、散会となりました。

以上